

令和2年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実施状況

◇全国各地で行われている「地域学校協働活動」のうち、本補助事業の活用状況を取りまとめたもの。

地域学校協働本部
整備数

7,792 本部

〔 小学校:9,864 校
中学校:4,181 校 〕

地域学校協働活動
推進員等数

26,575 人

地域学校協働活動の実施校数

「学校における働き方改革を
踏まえた活動」実施校数

11,428 校

「学習支援・体験活動」
実施校数

15,910 校

実施市区町村数

地域学校協働本部 984 市区町村

働き改革を踏まえた活動 687 市区町村

学習支援・体験活動 1,274 市区町村

地域学校協働活動とは・・・

「地域と学校が**教育目標を共有しながら、それぞれの役割を熟議し、両者が連携・協働して行う教育活動や教育支援活動**」

➡ そのうち、教員の働き方改革の助けとなる活動

例) 感染症対策をサポート

学校施設や備品などのアルコール消毒を地域の人々が教職員に代わって行う。

例) 部活動の支援

地域の人々が、部活動の指導や見守り等を教職員と協力しながら行う。

例) 給食の時間のサポート

小学校低学年を対象に、地域の人々が担任や栄養教諭と連携しながら準備などのサポートを行う。

➡ そのうち、子供たちの学習や体験活動を支援する性質のもの

例) 郷土学習の支援

地域の産業や歴史に詳しい地域の人々が、歴史遺産などの案内を行い、郷土学習の支援を行う。

例) 放課後子供教室

全ての児童生徒を対象に、放課後や休日に原則無料で学習や体験・交流といった多様な活動を行う。

主な活動内容

●学習支援

計算、漢字、理科実験、宿題の指導など

●体験活動

スポーツ、工作、茶道、料理教室など

